

静浦バイパス通信

国道414号の沼津市静浦地区の慢性的な渋滞の緩和に向け、下香貫地区から大平地区までの区間について静浦バイパスの整備を進めています。

この区間のうち、沼津アルプストンネルについては、年末ごろの貫通を予定しています。

また、大平地区においては、高架橋(地上よりも高い位置に架けられる連続した橋)の工事と地盤改良工事を進めています。

今回は、大平地区における、橋りょう工事の状況についてお知らせします。



平面図（工事現場を上から見ると）



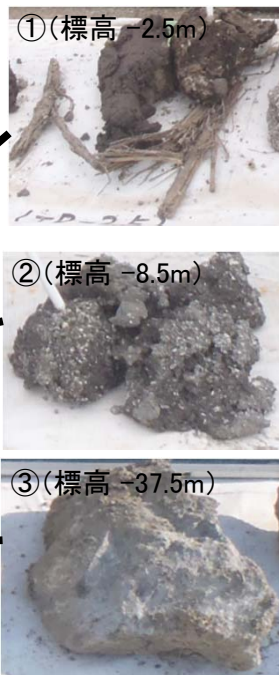
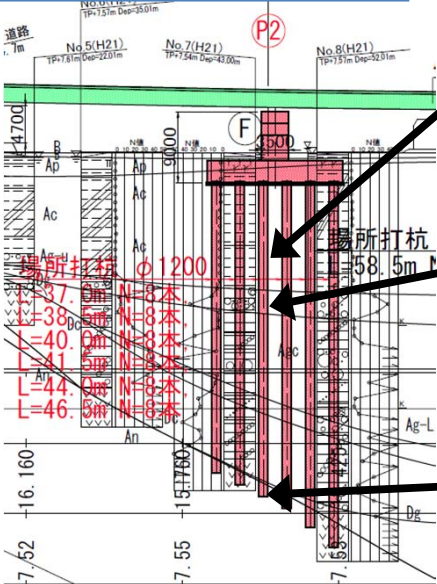
橋りょう工事の状況

大平地区では、現在橋りょうの柱となる橋脚(きやく)工事を進めています。

現地は、狩野川の後背湿地とよばれる粘性土が堆積した軟弱な地盤を形成しているため、橋りょうを支えるために、深い位置にある固い層(これを支持層といいます)まで杭を打ち込む必要があります。工事中のP2橋脚の杭の長さは、地表から40m程度の深さになります。途中の層で採取された土の一部を紹介します。



側面図（工事現場を横から見ると）



- ①(標高-2.5m)
採取土: 粘土に混ざった木片(腐植物混り粘土)
 - ②(標高-8.5m)
採取土: 二枚貝, 巻き貝等の貝殻片(シルト質砂礫)
 - ③(標高-37.5m)
採取土(岩): 安山岩
- ③の安山岩は、基盤岩と呼ばれる厚さ約150mの支持層です。現地には、縄文(海進)時代に海水が流入し、内湾(古狩野湾)を形成していたことを示す文献もあり、②の貝殻片は海水の影響を受けたことの名残であることが推測されます。

今後も、順次、橋りょう工事の整備を進めてまいります。引き続き、工事への御理解・御協力をお願いいたします。

平成29年度に実施している工事について

箇所	内容	平成29年度			概要
		7月-9月	10月-12月	1月-3月	
①トンネル工区	掘削・コンクリート巻立等				トンネル内を掘削し、その表面をコンクリートで覆います
	大平側坑口斜面工事				トンネル出入口の斜面の安全対策をします
②大平工区	橋りょう工事(P2,P3,オフA1,オンA1)				橋りょうの脚となる橋脚、土台となる橋台をつくります
	地盤改良・函渠工事				将来道路ができる場所の地盤を改良します

★平成30年代前半の開通を目指し、整備を推進していきます。

